

# 建築審査会添付図書記載例

(法第43条)



目標となる地物は、最寄りの駅や市役所など誰もが知っているものとし、名称は見やすい文字で表示し枠で囲む。

〇〇駅

原則、図面右上に記載することとし、他の図においても、記載位置及び表示を合わせる。

申請地文字は、赤字で記載し枠で囲む。

申請地

用途地域の表示は、都市計画図の表示と合わせた記載とすることとし、凡例(図内にあるもののみ)を法の条項順に記載する。

申請地は赤色塗りつぶしとし、見づらい場合は、赤枠で囲む。

△△市

凡 例	
表 示	用 途 地 域
	第二種中高層住居専用地域
	第一種住居地域
	近隣商業地域
	商業地域
	準工業地域
	工業地域
	指定のない区域 (市街化調整区域)

下図は市町村の都市計画図等を利用し、周辺の地形地物、道路及び鉄道等を表示することにより、できる限り申請地の位置関係が分かりやすい表示とする。

市境がある場合は、2点鎖線で表示する。

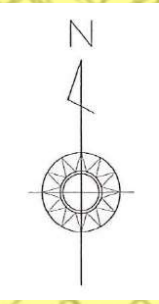
〇〇市

枠のサイズは25mm×100mmとする。(以下図面共通)

市を跨ぐときは、市名を記載し、用途地域を着色する。

図面名称、縮尺、図面番号は図面右下に記載すること。なお、縮尺は1/10,000程度とする。

図面名称	都市計画図		
縮 尺	1/10,000	図面番号	1



**第一種住居地域**

原則、図面右上に記載することとし、他の図面においても、記載位置及び表示を合わせる。

申請地及び申請地が接する通路周辺については、現況に合わせて都市計画図を修正する。

用途地域の表示を都市計画図の表示と合わせることで、当該用途地域が分かるように表示する。  
(市町村をまたぐ場合は、市町村ごとに表示する)

**第二種中高層住居専用地域**

通路が接続する建築基準法上の道路について、接続部分を含む交差点間を茶色で着色する。

**申請地**

申請地は形状を正確に赤枠で囲む。

申請地が接する通路を形状を正確に薄い青色で着色する。

市街化調整区域も表示する。  
(市町村をまたぐ場合は、市町村ごとに表示する)

**市街化調整区域**

図面名称、縮尺、図面番号は図面右下に記載すること。なお、縮尺は 1/2,500 程度とする。

図面名称		付近見取図	
縮	尺	1/2,500	図面番号
			2

計画概要

用途地域	指定のない区域
主要用途	一戸建ての住宅
構造・階数	木造平家建
敷地面積	638.00 m <sup>2</sup> (627.00 m <sup>2</sup> )
建築面積	238.00 m <sup>2</sup>
延べ面積	215.00 m <sup>2</sup>
建蔽率	3.74/10 (3.80/10)
容積率	3.43/10 (3.37/10)

※( )内は通路後退後の数値

凡例

○	雨水樹
⊗	汚水・雑排水樹
◻	最終樹
▲	敷地出入口
△	建物出入口

建蔽率・容積率は分数表記とし、議案書と整合させて小数第2位までとする。

建物の境界線からの距離を記載する。

敷地が公園、広場、水面、線路敷等に接する場合は、( )で記載する。  
例：隣地(水路)境界線

敷地境界線は赤色とし、寸法(単位はmm)を敷地の外側に記載する。

通路との境界は「通路境界線」とし、通路中心から2m離れた「通路後退線」を記載する。なお、通路反対側が水路等の場合は、通路反対側の境界線から4m後退する。

合併処理浄化槽を設置する場合は、人槽も記載する。

雨水、汚水、雑排水の放流先を記載する。

図面名称、縮尺、図面番号は図面右下に記載すること。なお、縮尺は1/200程度とする。

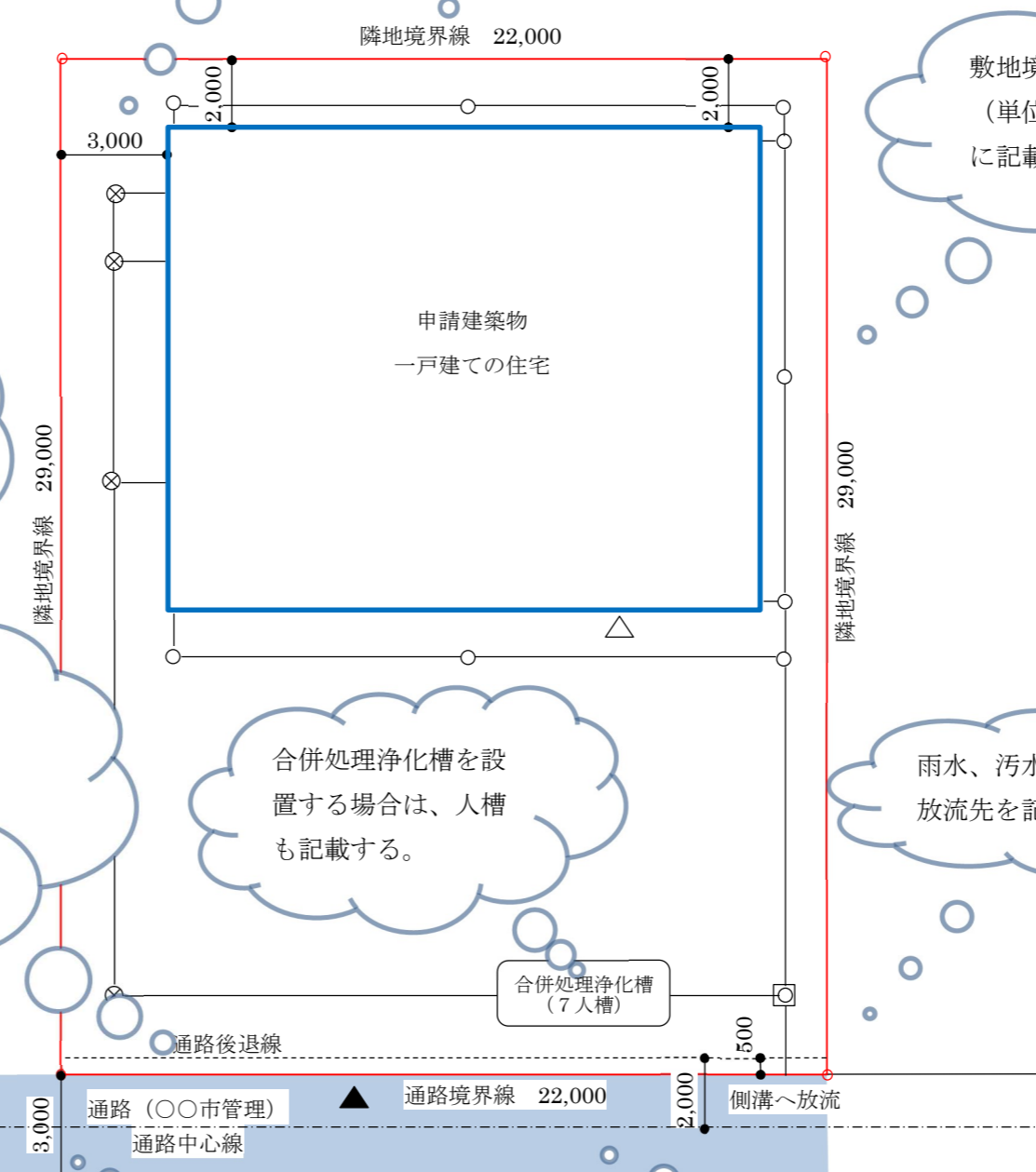
市道の幅員は通路が接続する部分で記載する。

通路の幅員は敷地の端部で記載する。

通路は薄い青色塗りつぶし(敷地が接する部分まで)とし、管理幅員、管理者及び通路中心線を記載する。(側溝の表記は不要)

建築基準法の道路は茶色塗りつぶしとし、幅員及び認定道路名を記載する。認定道路以外の場合は「法第42条道路」と記載する。(側溝の表記は不要)

敷地境界から道路までの距離を記載(単位はm、小数点第3位切捨て)する。なお、距離の測り方は、通路の中心線で測る。



図面名称		配置図		
縮	尺	1/200	図面番号	3